内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

二

大甲二〇六 海甲五〇 司甲三三、台甲一五七号 一九一コマ
縣甲四二〇、四二二 合六

明治三十六年十月十四日　内閣書記官

内閣總理大臣　内閣書記官長

大藏省海軍省司法省各府縣一
縣監吏技手ヲ置キ事務集処保ス仕
右右吉所官庭ヲ具状ヲ選ヲセラレ進ルヘ
シ

指令案

稜閣監吏陸軍中一補充ヲ白石改ヲ先案

内閣

免除ニ付退可ス

明治三十六年十月十五日

陸軍大臣陳

海軍監獄教官陸軍歩兵少尉楊井幸次郎升一右ノ如ク仝文

仝上

監獄教誨師陸軍第一補充兵杉原五一ノ如ク仝文

仝上

陸軍大臣陳

基隆廳警部後備陸軍憲兵少尉窪源之助ノ如ク仝文

仝上

同廳警部後備陸軍歩兵少尉不破惠品次郎ノ如ク仝文

仝上

台湾総督府書記陸軍砲兵後備陸軍輜重兵少尉石田貢ノ如ク仝文

内閣

仝上

陸軍考査除

臨時臺湾土地調査局技手陸軍砲兵
少尉御厨健次郎 ツト仝文

仝上

仝

斗六廳屬陸軍輜重兵上等兵高橋
次 ツト仝文

仝上

仝

高雄廳屬陸軍輜重兵軍曹長本吉順一郎
ツト仝文

仝上

仝

李良廳屬陸軍輜重兵軍曹長小麟
城孫一郎 ツト仝文

仝上

五六一号

第一補充兵輜重輸卒

白石政之允

右ハ目下横濱税関ニ於テ監吏奉職中ノ愛監吏ノ職タル関税警察ノ任ニ當ルモノニシテ外國語ノ素養ヲ要スル等特別ノ技能アルモノニアラサレハ従事セシメ難キニ付陸軍勤務演習簡閲點呼ノ為メ召集セラルヽトキハ俄ニ餘人ヲ以テ之ニ代ラシムルコトヲ得サル事情アリ事

甲二〇六

務差支アルニ依リ本人税関在職中ハ右
召集免除相成度此段及申牒候也
明治三十六年十月十二日

大蔵大臣男爵曾禰荒助

内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

海軍典獄音字楊井喜太郎
外一名召集免除ニ付
豫備陸軍歩兵上等兵楊井喜
次郎同村上清吉郎ハ現ニ法務
典獄音字主務中ニシテ係人ヲ学
ビツヘカラサル者ニ有之勤務演
習及ビ閑院宮殿下御巡行ニ当リ
明治三十六年十月十三日
甲五の

陸軍大臣男爵山本權兵衛

内閣総理大臣伯爵桂太郎

司法省職壹第一七一〇號

動務演習簡閲點呼召集免除ノ儀ニ付稟請

姫路聯隊區司令官

第一補充兵歩兵二等卒

神戸監獄詰

監獄技手　松原五一

右ハ明治三十二年度第一補充兵ニシテ動務演習及簡閲點呼ノ召集ニ應スヘキ者ニ有之然ルニ監獄技手ノ職務タル建築ニ関スル特殊ノ技術ヲ要シ加フルニ定員一人ニテ設計経営擧テ本人ニ擔當為致居候ニ付前顯ノ為メ

甲乙二

召集セラル、ニ於テハ忽チ工事進捗上支障ヲ生スルモ其間餘人ヲ以テ補充スル能ハス即チ徴兵令第二十四條ニ該當スル者ト認メ候間在職中該召集免除相成度此段請認可候也

明治三十六年十月十三日

司法大臣波多野敬直

内閣総理大臣伯爵桂太郎殿

民總第五三五八號

生産局ニ於テ調査ス　宮崎原之助

陸軍予備服役中ノ者ニ候處必要ノ事務ヲ為シ其他ヨリ之カ補欠ニ充ツヘキ餘員無之即チ餘人ヲ以テ代フヘカラサル職務ニ従事セシムルモノニ俄条勤務演習召集免除ノ進級認可の相成度陸軍服役條例第百六十四條ニ依リ此段及具状候也

明治三十六年十月五日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

兵種	已	官	職	名	後備役満期年月日	氏	名	生年月日
後備歩兵軍曹		基隆廳巡査			明治四十年三月三十日	笹	源之助	明治七年十月廿七日

民總第五二三ノ號

基隆廳巡査 園藤品次郎

陸軍豫備服役中ノ者ニ候處必要ナル職務達事其ノ他ヨリ之カ補欠ニ充ツヘキ餘員無之即チ餘人ヲ以テ代フヘカラサル職務ニ従事セシムルモノニ付条勤務演習召集免除ノ基礎認ノ相成度陸軍服役條例第百六十四條ニ依リ此段及具状候也

明治三十六年十月七日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

内閣總理大臣伯爵 桂太郎殿

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan

各位殊更	清軍	奪	鎮
深厚敬意	昼夜	敵	明
表敬	敵	山	治
敬	敵	砦	砦
敬	敵	砦	砦

倍多ノ明治元年九月日ニ九日解纏

清朝、明治四十五年三月三十日ニ九日ニ解纏

氏	陳	皇	目
名	長	明	録
所	吟	陵	目
在	鈴	ナニ	録
地	鈴	月ニ	録

出 [illegible] 録 [illegible] の [illegible]

第六章 明治

第一節 日清戦争

一 開戦と陸海軍の動向

明治二十六年（一八九三）十月、朝鮮国内の東学党の乱に対し、日本は清国と共に出兵した。十月末、日本軍は平壌を攻撃し、翌二十七年（一八九四）一月、平壌を陥落させた。

民總第五四八八號

為替府兵法傳習教授方面ニ貢ハ
倩軍法備服役中ノ者ニ候處蕃語ニ通スルモノヲ其ノ他ヨリ
之カ補欠ニ充ツヘキ餘員無之即チ餘人ヲ以テ代フヘカラサル職務ニ
従事セシムルモノニ付条勤務演習召集免除ノ差支ノ相成
度倩軍服役條例第百六十四條ニ依リ此段及具状候也

明治三十六年十月一日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

国立公文書館
National Archives of Japan

戦争と日本人

中国戦線の実情

内閣文庫

三月十八日　第一回

戦争と日本人

中国戦線の実情

第一回

昭和十四年三月十八日

於東京国際博物館講堂

講演者　陸軍少将　鶴見祐輔

内閣文庫

民總第五五一七號

陸軍豫備役中ノ者ニ候處土佐浦吉右衛門儀土佐浦吉右衛門事務ニ堪ヘサル旨ヲ他ヨリ之カ補欠ニ充ツヘキ餘員無之即チ餘人ヲ以テ代フヘカラサル職務ニ従事セシムルモノニ付条動務演習召集免除ノ義越認ノ相成度陸軍服役條例第百六十四條ニ依リ此段及具狀候也

明治二十一年十月一日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

国立公文書館
National Archives of Japan

会宿種別番号	複製許可	氏名	経路
陸海軍学校生徒	臨時委員会	船橋	長崎駅東京駅
海軍兵学校	海軍兵学校	海軍兵学校	海軍兵学校

皇紀二千六百年

海軍兵学校

海軍兵学校

海軍兵学校

海軍兵学校

民總第五五三の號

第六號

陸軍臨備服役中ノ者ニ候處土語ト精通シ且ツ他ヨリ之ヲ補欠ニ充ツヘキ餘員無之即チ餘人ヲ以テ代フヘカラサル職務ニ従事セシムルモノニ付条勤務演習召集免除ノ法規ニ準拠の相成度陸軍服役條例第百六十四條ニ依リ此段及具状候也

明治三十六年十月一日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

内閣總理大臣 伯爵 桂太郎 殿

国立公文書館
National Archives of Japan

発送種別 普通	東	白	生年月日 明治十一年一月十八日
積載重量	鹿本郡植木町	青木藤吉郎	
発送	千葉県千葉郡千葉町	名	

千葉県千葉郡千葉町

青木藤吉郎

明治十一年一月十八日生

本籍地 熊本県鹿本郡植木町

現住所 千葉県千葉郡千葉町

職業 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

甲警第一七〇一號

左記者本縣巡査奉職中勤務演習及箭場巡査集會等ニ出張相成度此段及稟請候也

明治三十六年十月十日

長崎縣知事 荒川義太郎

内閣書記官長 男爵 桂太郎殿

長崎縣南高来郡古部村四百九拾五番地
豫備産婆看護婦 大塩順一郎

孫甲四二〇

警甲第一一九號

奈良縣平民

豫備陸軍軍曹兵事軍曹 藤谷麟城

仝 石井巳之助

第一補充兵

右ノ者本縣巡査ニ採用候要動務演習簡閲点呼ノ為メ召集セラルヽトキハ執務上差支候ニ付陸軍服役條例第百六十四條ニ依リ前記者巡査奉職中ハ勤務演習並ニ簡閲点呼御免除相成度此段上申候也

明治三十六年十月十二日

奈良縣知事 河野忠三

内閣總理大臣伯爵 桂 太郎殿

監発第一〇三号

茨城縣東茨城郡稲荷村六反田九番地士族
後備陸軍歩兵等卒一谷亀吉

右之者當監獄看守ニ採用候處餘人ヲ以テ代フ可キ職務ニ付勤務演習簡閲点呼共免除之義御認可相受候處同人儀本年十月九日依願千葉監獄看守ヲ免シ候間此段及上申候也

明治三十六年十月十九日

千葉監獄
典獄高木光久

内閣總理大臣伯爵桂太郎殿